

東日本大震災から10年の消防の現在 / 創刊20周年特別企画 消火戦術の改革

2021年3月10日発行 通巻110号
消防・防災・レスキューの専門マガジン

J-RESCUE

ANOTHER MAN'S LIFE BY RISKING HIS OWN LIFE IS

3

March
2021, Vol.110
隔月刊・偶数月10日発売

全国新車速報

DETAIL UP!
消防ポンプ自動車CD-II型 (佐久広域連合消防本部)
30m級はしご付消防自動車 (北アルプス広域消防本部)
水槽付消防ポンプ自動車II型 (浜松市消防局)

密着レポート! 防災航空隊の1日を追う
埼玉県防災航空隊

特集

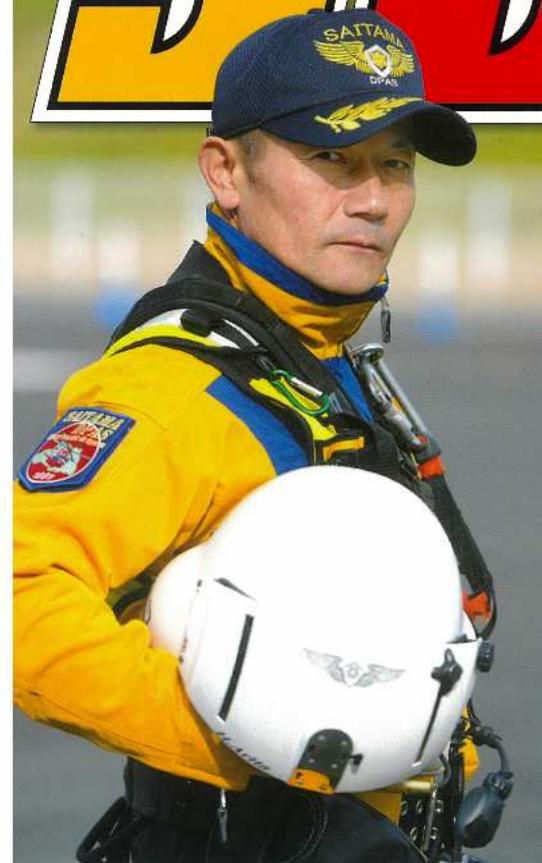
東日本大震災 から10年

—あの災害の教訓を今につなげるために—

- ◆顕在化した課題にどう取り組むか—
気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部10年間の歩み
- ◆緊急消防援助隊はあの時、何をしたのか? これから何ができるのか?
- ◆強化されたコンビナート火災対応 ◆岩手県大槌町消防団
／消防庁広域応援室 / 写真で見る被災地と現在の福島県

レスキュー創刊20周年特別企画

消火戦術の改革 【渋消式】の誕生



防災訓練レポート⑧ 投稿◎恵那市消防本部(岐阜県)

緊急車両安全運転研修会

日時: 令和2年11月16日、19日

恵那警察署と合同で開催

恵那市消防本部では11月16日、19日の2日間、恵那警察署と合同で緊急車両安全運転研修会を開催した。

警察職員から道路交通法について受講し、東濃自動車学校および消防本部の敷地において、緊急走行中の危険予測運転やたこつぼ状道路からの脱出訓練等を実施した。



時に若い機関員の知識や技術の向上につながる有意義な研修会となった。

防災訓練レポート⑦ 投稿◎恵那市消防本部(岐阜県)

土砂災害対応訓練

日時: 令和2年11月24日、25日

生き埋めとなった要救助者を救出

11月24日、25日の両日、土砂災害対応訓練を株式会社丸河興業の協力のもと、砂取場を借用し実施した。訓練は土砂により要救助者1名が生き埋めになっているという想定で実施。土砂再崩落等の二次災害を防止するため、グラウンドパッドの設定、コンパネ、杭による応急土留めを設定し救出した。

このような災害は当消防本部では事例がなく、また実際に土砂を使用し訓練を行うことができなかったため、今回の訓練により災害のイメージ、隊員間の連携、設定方法が確認でき大変有意義な訓練となった。



二次災害防止のため応急土留めを設定。

防災訓練レポート⑩ 投稿◎愛媛県消防学校(愛媛県)

消防学校と警察学校の合同訓練

日時: 令和2年11月10日 参加人数: 県消防学校18名、県警察学校27名

消防と警察の迅速かつ的確で強固な連携を

松山市勝岡町の県消防学校において11月10日、本校第31回専科教育「救助科」訓練生18名と、県警察学校初任科生27名との合同訓練を実施した。

内容は、救助科訓練生指導の下、訓練塔を使用して、避難誘導を想定した濃煙内の実体験や、筒先を保持し実放水を行う訓練のほか、実火災体験型訓練施設を使用して救助科訓練生が行う、火災発生からの火勢延焼拡大状況や濃煙熱気および放水による環境の変化など実際の火災現場に近い状況を見取るなどの訓練を行った。

災害現場活動においては、消防と警察は被害軽減のために、迅速かつ的確で強固な連携が必須となることから、今後も両校で交流を深め、住民の安全と安心を守りたい。



警察学校との合同訓練は開校以来初めて。

防災訓練レポート⑨ 投稿◎豊川市消防本部(愛知県)

BC災害対応合同訓練

日時: 令和2年12月10日

テロ災害を想定し対応能力を強化



豊川市消防署では12月10日、豊川市豊川公園内において、BC災害対応合同訓練を実施した。

「陸上競技場スタンド内において、何者かが液体を撒き散らし、多数の負傷者が発生している」という通報内容に基づき、テロ災害を想定した訓練となった。

東京オリンピック・パラリンピックの開催が控えていることもあり、大規模テロ災害対応の経験がない本市の対応能力強化およびNBC災害対応マニュアルの再確認を目的とした訓練。

防災訓練レポート⑫ 投稿◎成田市消防本部(千葉県)

予防業務研修会

日時: 令和2年12月26日

講師: 学校法人日栄学園 日本自動車大学校

参加人数: 52名

「車両火災に係る自動車基礎講習」を開催

成田市消防本部では12月26日、日本自動車大学校にて、車両火災に係る調査技術の向上および自動車構造知識の習得を目的に、予防業務研修会「車両火災に係る自動車基礎講習」を開催した。

同校の講師によりエンジンや駆動系の構造に関する基礎解説に代わえ、ハイブリッド車、燃料電池車、電気自動車の仕組みについての講義が行われた。さらに実習では用意された5車種に対し、エンジンの配置の違いやシャーシ構造、安全装置などを確認した。

主な出火箇所や火災原因につながる故障の事例を交えながら進め、参加職員からは「大変参考になった」、「次回も期待したい」といった声が多く上がった。



大型ジャッキを使用し、ふだんは見ることのできない車両の下部構造についても確認できた。

防災訓練レポート⑪ 投稿◎佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部(千葉県)

高度救助隊員継続訓練

日時: 令和2年11月29日、12月20日

参加人数: それぞれ25名

大同産業株式会社の指導で実施

佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部は11月29日と12月20日の両日、管内にある

「大同産業株式会社」の協力を得て、同社敷地内において高度救助隊員継続訓練(CSR・ブリーチング訓練)を実施した。

この訓練は、大規模災害における座屈倒壊および土砂災害現場を想定し、同社の



破壊器具でコンクリートを破壊する。



技術者から重機やドリルなどを用いてコンクリートの破壊要領や瓦礫上の歩き方などの指導を受け、倒壊建物の狭隙空間での救出活動、瓦礫上での活動要領、破壊器具の基礎的な取扱いを行った。

救助技術、知識、災害対応能力の向上、救出活動時の安全管理注意事項などの再確認が図れた。

投稿募集

「消防・防災訓練PRESS」では、関係者の方々からの訓練やイベントの投稿を募集しております。皆さんのJレスキューへの積極的な投稿をお待ちしております。

*投稿要領(以下3項目を合わせて、編集部までメール等でお送り下さい)

1. 誌面掲載用の写真を2~3点(デジタル写真の場合は100KB以上、加工せずに添付して下さい)
2. 訓練やイベント等の開催概要(開催月日、会場名、主催機関、参加人員数、参加車両数、イベントの目的)と結果についてのコメントを一言(300~400字程度)。
3. 投稿者の所属・連絡先

*投稿先: Jレスキュー編集部

jrescue@ikaros.co.jp FAX 03-3267-2714

〒162-8616 東京都新宿区市谷本村町2-3 イカロス出版